



新名所に期待!!

越前おおの結楽座・時鐘

(大野市明倫町「越前おおの結ステーション」内)

## 主な内容

12月定例会の概要	2	ページ
一般質問	3~8	ページ
12月定例会審議結果	8~9	ページ
常任委員会審査	10	ページ
決算特別委員会報告	10	ページ
常任委員会行政視察報告	11	ページ
各委員会報告	12	ページ

# おおの 議会だより

No.166 平成22年1月25日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

TEL0779-66-1111 FAX0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

# 12月定例会市議会の概要

第三六六回定例会市議会は、十一月三十日から十二月十六日までの十七日間の会期で開催されました。  
 今定例会では、二十一年度一般会計補正予算案をはじめとする四十九議案を審議しました。この中には、九月定例会から継続審査となっていた平成二十年度決算認定議案二件も含まれています。そのほかに、議員提出の市会案二件、請願一件、陳情二件についても審議いたしました。

## 主な議案

### 条例

○大野市立学校施設の利用に関する条例の一部を改正する条例  
 ほか（議案第八十二号から第二百五号および議案第百七号 全二十五議案）

#### （主な内容）

本市のすべての公の施設の使用料見直しにより、これまで各施設で利用者から徴収していた基本使用料に加え、それぞれの施設の設置目的や利用形態等により、①市外の方が利用する場合の「市外割増」、②営利を目的として利用する場合の「営利割増」、③入場料を徴収する場合の「入場料割増」の全部または一部を施設ごとに課すものです。

○大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（議案第八十一号）

#### （主な内容）

人事院勧告に準じて、大野市一般職の職員の給与に関する条例、議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例、大野市長等の給与に関する条例など、六つの条例を改正し、一般職については、六月・十二月期の期末勤勉手当を合わせた支給率を百分の三五減じて年間で四・一五月とし、さらに若年層を除く給料月額を平均〇・二割減額します。

また市長、副市長、教育長、議員については、六月・十二月期の期末手当を合わせた支給率を百分の二十減じて年間で三一〇月とします。



## 予算

▼二十一年度一般会計補正予算（第七号）（議案第七十四号）

主な内容は、国からの補助を活用した、小中学校の指定通学路への防犯灯の設置、開成中学校の普通教室棟・体育館の耐震補強、森目小学校の富田小学校への統合に伴うスクールバスの購入、民俗資料館のトイレ改修、自治会のコミュニティ拠点施設改修・備品購入への補助、そして全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備などの経費が計上されています。

また、ふるさと雇用再生対策特別交付金事業・緊急雇用創出事業により計十人を新たに雇用するための経費のほか、越前大野城築城四三〇年祭のオープニングイベントや広報宣伝等に係る経費、明日の地域農業を支える担い手条件整備事業として生産組合の農業ハウス整備に係る補助なども計上されています。さらに今回の補正には、職員

等の給与条例の改正や人事異動に伴う職員給与費等の調整も含まれ、これらを合計すると、一億六千八百二十五万円が追加され、予算の累計が百七十三億二千七十万八千円となりました。

▼専決処分の承認を求めることについて（議案第百十七号）

平成二十一年度一般会計補正予算（第六号）を十月三十日付けで専決処分したものです。  
 新型インフルエンザのワクチン接種において、低所得者に対する負担軽減対策を講じるため、千七百二十七万七千円が追加され、補正後の予算総額は百七十

一億五千二百五十八万三千円となりました。

▼二十一年度特別会計および企業会計補正予算（議案第七十五号）（第八十号）



12月に補正のあった特別会計等の補正額と補正後の総額	
○国民健康保険事業	補正額 4,875万1,000円 累計 37億5,548万8,000円
○介護保険事業	補正額 235万7,000円 累計 31億5,675万3,000円
○簡易水道事業	補正額 979万円 累計 1億4,393万4,000円
○農業集落排水事業	補正額 590万4,000円 累計 3億4,176万2,000円
○下水道事業	補正額 3,123万4,000円 累計 14億1,225万1,000円
○水道事業	補正額 91万5,000円 累計 3億 285万3,000円

## 審議日程

- 11月
- 30日 本会議（会期の決定、決算特別委員長報告・討論・採決、議案上程・提案理由の説明、一部議案討論・採決）
- 12月
- 1日～6日 休会
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 9日 常任委員会（産経建設）
- 10日 常任委員会（民生環境）
- 11日 常任委員会（総務文教）
- 12日～13日 休会
- 14日 特別委員会（中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革）
- 15日 休会
- 16日 常任委員会（総務文教）  
 本会議（各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、追加議案上程・採決、市会案上程・採決）



一般質問  
本田 章 議員  
(新公会)

次期市長選挙について

**質問** 在任期間を自己総括して、平成二十二年実施の市長選挙に向けて、現時点どのように考えているか。

**答弁** 展開している事業の多くは、中部縦貫自動車道の完成を念頭に置いて展開しており、ようやく緒に就いたところであり、スピード感を持って完成させるとともに、新たな施策を展開していきたい。市民の皆さまのご理解が得られるならば、引き続き市政運営を担わせていただき、「越前おおの元氣プラン」を反映させた平成二十三年度を初年度とする第五次大野市総合計画を自らの手で策定し、新たな気持ちで邁進したいと意を強くしている。



新年度予算編成について

**質問** 新政権が新年度予算編成にもたらす影響は。

**答弁** 国の動向はあまりに不透明で、

国の認定を受けた計画に基づき継続的に推進している事業に関して、その方向性が変わることは、国と地方との信頼関係を損ねるものであり、いかなるものかと感じている。今後の国からの情報を的確に判断する中で対応していく。

**質問** 新年度当初予算の編成方針について。

**答弁** 本来、予算はその年度の歳入・歳出すべてを年間見通して編成されるべきもので、市長選挙の執行や国の予算編成が不透明な状況下でも、市民生活の安定のために必要なものは当然計上し、選挙で市民の判断を仰ぐべきものは、判断をいただいた上で、予算計上したい。

意見書提出後の県の対応について

**質問** 「地方分権時代に即した県と市町のあり方に関する意見書」を市議会より県に提出したが。

**答弁** 奥越の特別支援学校の建設や県営水力発電所の売却など、十分に説明や協議がないまま進められているのではないかと、県の姿勢に対する不信感から提出に至ったものと理解している。その後、両件について県の説明を受けたが、今後は、事前の説明や協議の機会を持ちながら、地域住民や市町の理解を得られた上で進められるものと期待している。



一般質問  
谷口 治衛 議員  
(創造みらい)

越前おおの農林楽舎について

**質問** 越前おおの農林楽舎のこれまでの取り組みの内容および成果と、今後の事業展開をどのように考えるか。

**答弁** 直売所における農産物の対面販売に取り組んでいる。このことにより、生産者が消費者のニーズを把握、生産者同士または消費者との交流の構築、あるいは規格外の農産物を販売することもできる。また東京や名古屋、岐阜での出向販売を実施したりしている。今後も大野市独自の地域農業支援を行っていくほか、エコ・グリーンツーリズムなど都市部との交流にもさらに取り組んでいきたい。



第六次大野市行政改革大綱について

**質問** さらなる行政の透明化のために、インターネットなどの高度情報化の推進についての取り組みはどうか。

**答弁** 大野市では現在、市内のほぼ全域で高速通信網によるインターネットの利用が可能であり、今後は公平性・透明性の確保のため、市民への積極的な情報提供や利便性の向上、地域間格差の是正に努めていく。



**質問** 幼稚園、保育園等の再編はどうするのか。

**答弁** 大野市就学前子ども対策検討委員会の報告書の内容を基本とし、社会的状況や政権交代による幼児教育などの国の動向も注視した上で、効率的かつ質の高い教育・保育が実現できるように、具体的な施策を進めていきたい。

**質問** 市民参画・協働のまちづくりやNPOなどの連携強化について、どのように取り組むのか。

**答弁** 市民と行政が情報を共有化し、事業の各段階での市民参画の在り方について具体的な手法を構築していく。またNPOと行政、NPOと地域コミュニティなど、各種組織の連携強化に努める。



一般質問  
高岡 和行 議員  
(清新会)

予算編成について

**質問** 政権交代により、国の予算編成も変わり、県の予算編成も変わるであろう。当市においてはどうか。

**答弁** 約三兆円規模の縮減を目標として行われた事業仕分け作業の結果を踏まえて実施される財務省の予算編成を経て、十二月末には平成二十二年度予算案の閣議決定が行われる方針となっているが、不透明な部分が多すぎると痛感している。一方、県においては例年、十月中旬には新年度の予算編成方針を示していたが、国のこのような状況を踏まえ、本年度は半月遅れで平成二十二年度の予算編成を示したところである。大野市においては、市民生活に直結した予算も多く、必要な経費は国の動向にかかわらず計上していかなければならないため、例年どおりの日程で予算編成を進



める「平成二十二年度予算編成方針」を十一月四日付けで庁内へ示し、国の方向性などが明確になった場合には、その都度、編成作業に反映させてまいりたい。

教育について

**質問** 「教育理念」に沿った大野らしい教育とは、どのようなものと考えているのか。

**答弁** 大野らしい教育とは、何といっても「**明倫の心を重んじて育てよう**」大野人の「**教育理念**」を柱として、老いも若きもふるさとの人、自然歴史、文化、食等と触れ合う体験尊重の教育を推進することであると考える。

学校教育では「ふるさとを知る」教育活動と「ふるさとを創る」教育活動の体験学習をさらに充実していきたいと考えている。

どの分野においても「ふるさと」と「地域参加」をキーワードに「何を学ぶか」ではなくて「どのように学ぶか」に重点を置き、学びを定着させ、広げながら、大野市の教育理念の具現化を図ることであると考えている。



介護保険料の値下げを

**質問** 六十五歳以上の介護保険料の取り過ぎで、現在、介護基金が三億三千万円もたまっていて、国は、基金を取り崩すよう指導しているが。

**答弁** 国からはそういう指導があるが、市では、今後、介護福祉施設の充実を目指していることや高齢者が増えていくことから、支出が増えていくことが予想されるので、基金は残しておくこと

い。  
**質問** 介護保険で剰余金が出た場合は、国・県・市・二号保険者には清算して返すが、なぜ一号保険者だけは返さないのか。

**答弁** 大野市の場合は、県平均の保険料よりも低くなっている。今後、保険料が急激に上がったたり下がったりしないように、一号保険者の分については、準備基金として積んでいる。



一般質問  
浦井 智治 議員  
(日本共産党)

妊婦健診の交通費を助成しては

**質問** 奥越地域には出産できる医療施設がなく、福井へ健診に行くにも交通費の負担が大きい。勝山市のように妊婦健診の交通費を助成してはどうか。

**答弁** いろいろな疾病で福井の病院に通って治療を受けている方がいる。妊婦健診だけ助成することは公平性に欠けるので、交通費の助成を行うことは考えていない。



子供医療費無料化の拡大を

**質問** 県内のすべての市町で子供の医療費を小学校に入るまで無料としているが、福井県は三歳未満までしか補助金を出していない（福井県の補助対象は全国最低）。県に補助対象の拡大を求めるとともに、市の独自事業として小学校卒業まで無料としてはどうか。

**答弁** 市としては、少子化対策の充実を図るため、まず県の助成対象を拡充してもらったことが最優先課題と考え、市の重点要望事項として県に強く働き掛けていきたい。





一般質問  
前田 政美 議員  
(新国会)

教育問題の諸課題について県の対応は

**質問** 奥越特別支援学校の施設の問題、住民感情等、勝山市の受け入れ態勢は本当に整っているのか。六月の意見書提出後、県との協議はあったのか。

**答弁** 意見書提出後の七月末に、県教育委員会の企画幹らが来訪し、勝山南高校廃止後にその施設の一部は残し、一部は改築する考えでいること。勝山市民からは理解をいただいていると受け止めていることなどが伝えられた。

**質問** 高校再編計画と定員について、市教育委員会は報道にあった内容について事前に報告は受けていたのか。また協議は行われたのか。

**答弁** 再編については、大野・勝山両高校、新設高校、それぞれ一学年五学級ずつとする計画であること。また「奥越地区魅力ある県立高校づくり検討会議」を設置することなどが伝えられた。この検討会議には、市教委からの委員は入っていないが、中学校の校長会代表が入っており、専門部会として、大

野高校・勝山高校・新設高校の三つの各検討部会が組織されている。当初の県教委の提案に対し、地元の声を十分に聞いてほしいと要望し、それぞれの部会にPTAや同窓会の代表を積極的に取り入れてほしいと訴えた。

二巡目団体に向けて市としての取り組みは

**質問** どのような競技誘致を考えているか。また施設整備についての考えはあるか。

**答弁** 来年度に県が、県内各市町や各種目団体に開催種目の希望調査を行うと聞いており、市としても体協や各種目団体と密接に連携しながら遺漏のないよう進めていく。施設については、今後、競技種目の決定と合わせて県等と協議していく。

**質問** 小学校から高校までの児童生徒への強化策は。



**答弁** 選手育成のため、競技団体の協力を得ながら小中学生と一般の競技者・指導者が交流する青少年指導者スポーツ交流会の実施や、全国大会等に出場する選手や指導者に対して補助等をしている。今後とも競技力の向上、競技人口の拡大のため、体協や競技団体、スポーツ少年団等関係団体と連携し、選手育成、指導者養成に努める。



一般質問  
石塚 淳子 議員  
(創造みらい)

男女共同参画社会について

**質問** どのような男女共同参画社会を目指しているのか。

**答弁** 大野市における地域性やこれまでの慣習など考慮し、男性にはできない部分、女性にはできない部分など、男女の特性を理解し合い、日々の生活の中で、互いに補完し、住みよく豊かな、そして安心して暮らしていける地域社会の実現を目指す。

**質問** 男女共同参画都市の宣言をすべきたと考えるが見解は。

**答弁** 市民にその趣旨を徹底させていく土台作りとしては有効であるが、市民意識の高揚や市民社会での具体的な取り組みが醸成された段階まで待つことが適当と判断する。

**質問** 配偶者暴力防止基本計画の策定についての見解は。

**答弁** 一部の市では、男女共同参画プランの中に組み込んで計画とする動きもあり、さまざまな観点から検討を加え、本市にふさわしい計画を策定したい。

まちなか循環バスと乗合タクシーについて

**質問** 二カ月間の利用人数は。

**答弁** まちなか循環バスは、南北二ルートに乗車人数は合計千三百七十二人、一便当たりの乗車人数は〇・七人。乗合タクシーは、四路線の乗車人数は合計千八百六十人、運行率は五三・七割、一便当たりの乗車人数は一・七人となっている。

**質問** 平成二十四年の本格運行は可能か。

**答弁** 厳しい経済状況の中で、市民の方に利用していただければ、最悪の場合、試験運行だけで打ち切りという結果になる。残すべき公共交通と考えるので、今後、市民の方に利用しやすいような形にしていきたい。

高齢者運転免許証自主返納支援事業について

**質問** 全国的に高齢者運転免許証自主返納を支援するさまざまな取り組みが広がってきているが、当市では。

**答弁** 県内で五市町が支援事業を行っているが、支援内容が市町によって異なっていることから、他市町の取り組み状況やその効果を検証し、本年度末をめどに支援の在り方について検討する。



一般質問  
**畑中 章男** 議員  
 (新公会)

**人口減少時代の政策について**

**質問** 若者がUターン等をして親と同居するための住宅を増改築する際、その費用の助成制度を創設してはどうか。  
**答弁** 若者の人口増加を図るために、現行の助成制度の拡充を含め検討していく。

**質問** 国道一五八号の境寺・計石間の整備を市民運動で実現を急ぐべきである。  
**答弁** 今後の取り組み方について福井市と十分協議していく。  
**質問** 越前おおの結楽座と平成大野屋を起点に日曜市を開催して七間朝市とつなげては。

**答弁** 商店街、農林生産物生産者などと協議しながら検討していく。  
**質問** 各地区の祭り・イベントがジリ貧になっていくので共同集中し、農業と関連産業との重層的な経済構造を構築すべき。  
**答弁** 商店街、農業者グループ、地区の団体の参画の促進等支援して活性化につなげていく。

**魅力あるまちづくりについて**

**質問** 平成大野屋から七間通り西までの道路を観光舗装してグレードアップすべきである。

**答弁** 今後、沿線の方々との理解を得て整備していく。

**質問** 亀山公園は、紅葉樹を植えて魅力を増やせ。

**答弁** 亀山公園整備基本計画に沿って整備する。

**質問** 真名川・九頭竜川の景観を改善すべき。

**答弁** 樹木の伐採や浚渫を来年と再来年も継続して実施していく。

**質問** 新庄区内のVイオへ向かう市道を安全改良すべき。

**答弁** 事業費が大きいので予算確保について検討の上、地権者の理解と協力を求める。

**市民が健康で豊かな生活を営むために**

**質問** 市職員の意識改革はなされているか。

**答弁** 職員の意識改革に向けて新たな取り組みをしていく。

**質問** 高齢者の就業機会として農業はその一つとなり得るので、環境づくりをしてはどうか。

**答弁** 農業を始めるきっかけづくりを検討する。

**多様な時代に生き抜く地方自治について**



一般質問  
**山本 鐵夫** 議員  
 (清新会)

**質問** これからの市長の政治姿勢と陳情・要望活動の手法に変化があるのか。第五次大野市総合計画の策定に当たり、将来の道筋づくりのための基本構想で第一目標を示されたい。

**答弁** 政治姿勢というものはいかなるときも変わらないものであり、困難な時代を切り開くためにも誰にも負けぬ情熱を持ち、元気を出すことが最も大切であると思っている。これまでの政治姿勢を変えることなく全身全霊を傾注して市政運営に取り組んでいく。

新政権のルールに基づく陳情・要望活動はもちろんのこと、各種団体等を通じた陳情・提言活動に加え、新しい窓口の開拓と地方の声を直接国に届ける方策を模索し、今後臆することなく、市民の意向を踏まえた要望・提言活動を積極的に行ってまいりたいと考えている。  
 基本構想の策定に当たっては、これからの十年間で何をすべきかの確に

らえ、具体的で分かりやすい基本理念を設定したい。

**自治体における補助制度と今後について**

**質問** 補助金仕分けの考えと補助金の総額と割合は。

**答弁** 平成十二年度には、補助金等合理化委員会で整理合理化し、行政評価にて八段階に分類し、事業仕分けの結果を踏まえ、予算査定をしている。これまで以上に公益性や有効性、必要性が求められることから、事務事業評価を最大限活用し、適正な交付に努めていく。

二十一年度一般会計当初予算における補助金は八億九千万円で、予算総額の五・六割となっている。

**元氣チャレンジ企業支援事業について**

**質問** 申請件数と相談者の反応と今後の取り組みは。

**答弁** 二件の方が申請に向けて検討中であり、相談者の反応は良く、追加資料の準備を指導している。今後、さらに商工会議所など関係機関との連携や農業関係団体等へのPRなどにより、さらなる周知を図り、事業者の皆さまのチャレンジを応援し、市内産業の活性化につなげたい。



一般質問  
榮 正夫 議員  
(日本共産党)

「行政改革」について

**質問** 現在「第六次大野市行政改革大綱」の素案作りの段階だが、これまでの「大綱」は、自治体のリストラ・スリム化に重点があり、住民の権利擁護の観点で欠落しているのではないか。

**答弁** 現在市では、平成二十二年度から二十六年までの行政改革を実施するための「第六次行政改革大綱」の策定のため、民間や専門家を交えた戦略会議を構築し、広く市民の皆さんの意見を聞くためのパブリックコメントを実施している。

これまでの大綱は、行政主体で策定し、行政のスリム化、定員管理の適正化などを実施した。また地方分権改革に対応するため、コスト削減に主眼を置いた内容であったが、行政改革戦略会議



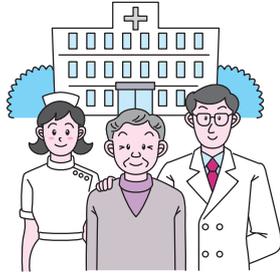
の提言等も考慮して、市民へのサービス向上が行政改革の目的であることを基本に、取り組みを進めている。

「国民健康保険事業」について

**質問** 国民健康保険法第四十四条に基づく申請の取り扱いについて、また同法第七十七条に基づく「保険税減免制度の概要」の見直しを考えているか。

**答弁** 国民健康保険法第四十四条では、被保険者が医療機関で受診した際に、一部負担金（三割負担）の支払いが困難であると認められる場合、保険者（市）は減額、免除、徴収の猶予をすることができると規定されている。

国では、九月より「モデル事業」を実施し、二十二年中には統一的な基準が示されることから、市としても地域の実情に即した運用基準の制定に向けて検討したい。



減免制度については、減免対象者の収入基準を「生活保護基準」以下から「百三〇円」以下に改め、世帯員の所得減少率が三〇割以上の場合に対象とする規定を新たに設けて、平成二十一年七月の第一期納期にさかのぼって適用している。



一般質問  
藤堂 勝義 議員  
(公明党)

二〇〇九年度補正予算一部執行停止による市への影響について

**質問** 国の補正予算一部執行停止による市の影響は。

**答弁** 子育て応援特別手当が凍結の対象となり、執行停止額は、執行済みの臨時職員賃金等十一万五千四百円を除く、約三千二百六十万円となっている。

また一部の事業は、担当省庁から一時停止という措置が取られたため、解除されるまでの間、発注が遅れた事業もあり、少なからず地域経済に影響を与えたと思われる。

**質問** 執行停止となった子育て応援特別手当の経過および対応は。

**答弁** 子育て応援特別手当は、国の経済危機対策として、小学校就学前三年間の子供一人につき、三万六千円の手当を支給することとされたものである。

市は、支給対象の子供を八百五十人と見込み、給付金三千六十万円、臨時職員の雇用事務費を九月定例会において議決いただき、支給対象者へ周知のため、市のホームページに掲載した。

しかし、国からの事業停止により、再度ホームページに掲載し支給対象者に周知した。

事業停止による影響は、臨時職員一人の六カ月間雇用を一カ月間のみ雇用に変更した。

市としては、事業が開始されていたにもかかわらず、一方的に国が事業を停止したことは、国と地方との信頼関係を損なうため残念である。

福井地方法務局大野支局の統合について

**質問** 福井地方法務局大野支局の統合は。

**答弁** 平成二十一年三月、大野支局が福井本局に統合される旨、国から説明があった。市は、市民の利便性等を考えると到底承諾できるものではないこと、事前協議がないことなど、国の施策に対し遺憾の意を表した。

**質問** 統合後の証明書発行請求機等の対応は。

**答弁** 法務局において設置基準があり、大野支局における直近三年間の登記事項証明書等年間発行通数が設置基準を下回り、今後も発行増加が見込めないことから、発行請求機は設置することができない。

市は利便性を考え、今後、要望する。



一般質問  
松原 啓治 議員  
(清新会)

地球温暖化防止について

**質問** 大野市の森林を地球温暖化防止にどのように寄与させていくのか、現在の計画を聞きたい。

**答弁** 市全体の八七割を占める本市の山林は、市民が誇れる越前おおのブランドの一つでもあり、後世に引き継ぐ貴重な財産であることから、計画的に市有林や民有林の植林を実施するとともに、適正な間伐や保育を行い、美しい森林の形成を推進することが、地球温暖化防止にも寄与するものと考えている。



教育現場(学校)における教育の基本方針について

**質問** 児童・生徒の家庭学習についてはどのように指導しているのか。

**答弁** 大野市教育委員会では、毎年度初めに「大野市学校教育計画(元気づ育て育成プラン)」を作成している。昨年

度より、この中で「小学校高学年では毎日一時間以上、中学生は毎日二時間以上」の家庭学習の定着をうたっており、リーフレットを市内全教員に配布し、指導に努めている。学年・時期・ねらいの違いにより形態はさまざまだが、各指導者が質と量を吟味し、日々指導に当たっている。

児童・生徒



の個人面談や保護者会等を通じて、家庭での実情をより把握し、子供たちにとって有意義な家庭学習となるよう、今後指導に努めていく。

大野の里芋について

**質問** 商品にならない里芋の販路はどのようなか。

**答弁** 里芋の生産・販売については、県やJ Aとの合同による「サトイモ産地強化プロジェクト会議」を本年六月に立ち上げ、未利用の里芋の有効活用等について検討を行っている。

今後、小サイズ里芋

の業務用冷凍加工芋の販路開拓や頭芋の新たな加工商品開発などに積極的に取り組む。



平成21年12月第366回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
70	平成20年度大野市歳入歳出決算認定について		認定	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
71	平成20年度大野市水道事業会計の決算認定について		認定	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成21年度大野市一般会計補正予算(第7号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×
75	平成21年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
76	平成21年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
77	平成21年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
78	平成21年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
79	平成21年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
80	平成21年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
81	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案		可決	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
82	大野市立学校施設の利用に関する条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×
83	大野市文化会館設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×
84	大野市自然体験活動施設設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×
85	大野市青少年教育センター設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
86	大野市体育施設設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
87	大野市和泉体育施設設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
88	大野市エキサイト広場総合体育施設設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×
89	大野市B&G海洋センター設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
90	大野市和泉総合福祉センター設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
91	多田記念大野有終会館設置条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×

(○:賛成、×:反対、-:欠席、除斥等による不参加。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	議員名（議席番号順）																		
				前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫
92	大野市子育て支援施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	大野市老人福祉センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	大野市農村婦人の家設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	大野市農業者健康管理センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	大野市農林業者トレーニングセンター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	大野市農村環境改善センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	大野市中山間地域農村活性化施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	大野市地域特産物等加工施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	大野地域職業訓練センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
101	大野市勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102	大野勤労者体育センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103	大野市まちなか交流センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104	大野市まちなか観光拠点施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105	大野市道の駅九頭竜設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	大野市国民休養地設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	大野市生涯学習センター設置条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
109	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
111	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
112	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
114	大野市防災行政無線設備整備工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
115	浸水対策事業物品売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
116	平成21年度大野市下水処理センター主ポンプ棟建設工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
117	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
118	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
119	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
120	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	中部縦貫自動車道整備促進に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	夫婦別姓制度及び永住外国人地方参政権の慎重な審議を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	政府への日米間におけるFTA（自由貿易協定）締結に反対する意見書提出に関する請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	新保険業法の適用除外を求める陳情について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	国籍法三条の改正・選択的夫婦別姓制度の導入反対・外国人参政権の不採択について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(○：賛成、×：反対、-：欠席、除斥等による不参加。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

## 請願

▼政府への日米間におけるFTA（自由貿易協定）締結に反対する意見書提出に関する請願

提出日 二十一年十一月十日

提出者 国民の食糧と健康を守る運動

福井県連絡会

会長 玉村正夫

紹介議員 榮 正夫、浦井智治

審議結果 継続審査

## 陳情

▼新保険業法の適用除外を求める陳情について

提出日 二十一年十一月九日

提出者 福井県保険医協会

会長 辻 哲雄

審議結果 不採択

▼国籍法三条の改正・選択的夫婦別姓制度の導入反対・外国人参政権の不採択について

提出日 二十一年十一月十三日

提出者 教育研究会未来

水上恵美

審議結果 趣旨採択

## 常任委員会審査

### Q & A

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。  
委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

#### 産経建設

**Q** 購入を予定している排水ポンプ車はどのようなときに使用するのか。

**A** 水路が増水して住宅地等に溜まった水を川へ排出する場合などに使用する。ポンプ車の総排水量は毎分三十リットル。

**Q** 本市の姉妹都市、友好市町等を紹介するブースを結ステーション内に整備できないか。

**A** 現在は、有終会館の中に一区画を設けて、それぞれの特産品等を展示している。有終会館の改修が計画されていることから、結ステーション内で設置するような場所があれば検討したい。

**Q** 越前大野駅前広場整備に合わせて、駅前空き交番に警察官または警察官OBの方の常駐をお願いすることはできないか。

**A** 県によれば、すでに交番所としての用途が廃止されているため、この施設に警察官等を駐在させることはできないとのことである。

#### 民生環境

**Q** 住民基本台帳カード普及に向けての今後の取り組みは。

**A** 所得税の電子申告期を迎え、カード発行が増えると思われる平成二十二年一月十八日から三月十五日までの毎週月曜日に、午後七時まで時間外交付を実施する予定。



**Q** 地球温暖化防止対策として、国は温室効果ガス排出量を二十五割削減するとしているが、市の計画は。

**A** 国は、二〇二〇年までに温室効果ガス排出量を対一九九〇年比二十五割削減を掲げているが、現在市では、平成二十二年度から十年間を計画期間とする第二期大野市環境基本計画を策定中であり、温室効果ガスの削減目標値や目標達成のための取り組み内容等について検討している。

#### 総務文教

**Q** 岩倉市からどんな消防機材を受け入れるのか。

**A** 今まで所有していた消防自動車の老朽化により、その代替として水槽のついていない消防ポンプ自動車一台が岩倉市から無償で譲渡される。

**Q** 越前大野城には平成二十二年三月から、外ばきそのまま入館できるようになるのか。

**A** 今回の補正予算で越前大野城の入り口付近をコンクリート舗装し、越前大野城築城四三〇年祭のオープニングに合わせて行いたい。城内が汚れないよう清掃には十分注意したい。

## 平成二十年度 歳出歳入決算を認定

決算特別委員会において歳入歳出決算について慎重な審査が実施されました。  
委員会から出された主な意見は次のとおりです。

- 施設用地等の借地料について  
不均衡な借地料が見受けられる。理解を得て、早急に均衡の取れた価格にされたい。
- 公共施設の管理について  
各公共施設の所期の目的を念頭に置いて、施設の在り方について検討されたい。
- 市税等の徴収について  
市税や使用料、保険料の収入未済額が増えている。弁護士等の意見を得ながら、全庁体制で取り組みを強化された。
- 定住促進について  
団塊世代をターゲットとした定住促進は、医療費負担の増大など負の問題の発生も念頭に取組まれない。

## 平成20年度 大野市各会計決算総括表

### ●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	164億8,938万円	155億8,543万円	9億 396万円

※端数処理のため合計が合わない

### ●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	39億197万円	37億4,404万円	1億5,794万円
和泉診療所事業	1億1,099万円	1億1,099万円	0万円
老人保健	4億5,791万円	4億2,185万円	3,606万円
後期高齢者医療	3億6,815万円	3億6,770万円	45万円
介護保険事業	30億 490万円	29億2,133万円	8,357万円
簡易水道事業	1億2,501万円	1億 327万円	2,174万円
農業集落排水事業	6億3,381万円	6億 775万円	2,606万円
下水道事業	12億9,237万円	12億7,687万円	1,550万円

### ●企業会計

区分	収入合計	支出合計	差引残額
収益的収支	1億2,001万円	1億1,751万円	250万円
資本的収支	1億7,489万円	1億8,928万円	△1,439万円

※不足分は留保資金（企業経営のための貯金）で補てん

# 常任委員会

## 行政視察報告

### 建設

八月二十五日から二十七日にかけて、埼玉県草加市、栃木県宇都宮市において視察を行いました。

草加市「今様・草加宿事業」は、かつて宿場のあった旧町地区から日光街道の名所として親しまれた草加松原に至るエリアを中心に、かつての賑わいと活気を現代風に取り戻すため、市民との協働により、平成十七年度から取り組まれています。歴史散策路や河川広場の整備、道しるべの設置、ガイドマップの作成、商店街とのまちなみ協定の締結、また景観形成基準の適合義務付けなど、ハード・ソフト両面からの取り組みによって、まちなみとしての調和が図られ、エリア内を散策する観光客も増加しているとのことでした。

宇都宮市「中心市街地拠点広場活用促進事業」では、デパート撤退跡地を買い取って整備した施設、または再開発事業者から譲り受けた施設を市民交流の拠点広場として活用することで、中心市街地の集客力・回遊性の向上が図られています。

また同市「農林公園ろまんちっく村」は、指定管理者の経営努力によって管理経費の削減が図られ、また年々減少

傾向にあった利用者数も回復し、平日にもかかわらずかなりの賑わいを見せていました。

### 民生環境

八月五日から七日にかけて、岡山県津山市の「こども施策の一元化」京都府京田辺市の「老人福祉センター」児童複合施設、京都市「ひと・まち交流館京都」について視察を行いました。就学前児童に関するサービス・管理部門を統一した津山市では、保護者の利便性の向上と組織内の連携強化が図られ、今後、幼稚園や保育園の統廃合など中・長期的な課題に取り組みやすくなったとのことでした。

京田辺市の複合施設は、子供と高齢者が共にふれあうことで人づくりの拠点を目指したもので、建物内外で互いに交流している様子が印象的でした。京都市「ひと・まち交流館京都」は「市民活動総合センター」「福祉ボランティアセンター」「長寿すこやかセンター」「景観まちづくりセンター」の四つのセンターからなっており、市民の自発的な活動を支援する拠点施設として多くの来館者で賑わっていました。

### 総務文教

台風十八号が本州中央を北東に縦断した十月七日から九日にかけて、視察を行いました。主な視察内容としては、東京都立川市では、新庁舎建設市民百人委員会から、市民との連携

による一括発注技術提案型総合評価一般競争入札（施工者選定立川モデル）により施工者選定に至るまでの経緯・概要等の説明を受けました。

東京都福生市では、建設工事を四つに分けて、それぞれ特定建設工事共同企業体と契約した新庁舎建設の概要等について説明を受けるとともに、本会議場等の議会関連施設や省エネルギー対策を中心に庁舎内を視察しました。

埼玉県立上尾かしの木特別支援学校では、高校再編により閉校となった旧上尾東高等学校の校舎を活用した同校の建設に当たって、特に留意した点や保護者・地元等への説明、教育内容の特色について説明を受け、子供たちに配慮して段差を低くして手すりを設けた階段等の校舎内を視察しました。

## 人事案件

▼教育委員会委員に山川氏の任命に同意  
教育委員会委員に、山川秀氏（伏石再任）を任命することに同意しました。

▼公平委員会委員に川端氏の選任に同意  
公平委員会委員に、川端正毅氏（小矢戸・再任）を選任することに同意しました。

▼固定資産評価審査委員会委員に土橋氏の選任に同意  
固定資産評価審査委員会委員に、土橋慶治氏（本町・新任）を選任することに同意しました。

## 意見書

定例会最終日に、議員から三件の意見書が市会案として提出され、いずれも可決されました。各意見書の概要は次のとおりです。

▼「電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書」  
平成二十二年度末をもって、本市を含む多くの関係市町村で三十年間の交付期限を迎える国からの水力交付金について、二十三年度以降は恒久的な制度とすること、および交付金の最高限度額の引き上げ等の交付条件の改善などについて、政府関係機関に対して要望するものです。

▼「中部縦貫自動車道整備促進に関する意見書」  
国道一五八号の整備促進と、中部縦貫自動車道大野油坂道路の今後十年から十五年をめどとした全線開通、同道永平寺大野道路の平成二十八年度までの早い時期での全線開通などを政府関係機関に対し要望するものです。

▼「夫婦別姓制度及び永住外国人地方参政権の慎重な審議を求める意見書」  
夫婦別姓制度の導入および永住外国人への地方参政権の付与については、わが国の制度の根幹にかかわる重要な問題であり、国民の合意形成がなされていない現段階での拙速な導入は社会的混乱を招く恐れがあるため、国において慎重に審議されることを政府関係機関に対し要望するものです。

# 委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長からの報告は次のとおりです。

## ●産経建設常任委員会

○まちなか循環バスについて

市民や観光客の足としての定着が図られ、持続可能な公共交通が実現されるよう、さらなる利便性の向上と、より多くの方に利用していただけるサービスの提供に努められたい。



○越前大野城築城四三〇年祭のノベルティグッズ製作について  
四三〇年祭以後も本市の土産品として長く親しまれるもの、また、まちなか遠足で来訪した児童・生徒が買い求めやすい価格となるよう考慮願いたい。

## ●民生環境常任委員会

○第二期環境基本計画の策定について

森林は、二酸化炭素吸収源として地球温暖化防止の重要な役割のほか、多様な公益的機能を併せ持っていることから、森林の整備・保全を推進しながら、本市の特性を生かしたさまざまな環境施策に取り組みたい。

○地下水の保全について

地下水涵養の手立てとして河川流量を増やすことが有効であるため、北陸電力をはじめとする関係機関への働き掛けについて、継続して検討を求めた。

## ●総務文教常任委員会

○市職員の綱紀粛正について

先般、市職員による不祥事が生じ、市民からの信頼を大きく損なうこととなった。全庁体制で公務員としてのモラルの徹底と管理体制の強化を図り、再発防止に全力を傾注されたい。

○国等への要望について

地方を取り巻く情勢は先行きが不透明で、厳しい状況となることが予測されるが、今後とも国からの情報を的確に把握し、関係機関等への適宜・適切な要請活動を実施されたい。

## ●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

本委員会は、去る十一月十九日・二十日に、市長、正副議長、市内の各種団体代表者で構成している連絡協議会とともに、県選出国会議員、国土交通省等に対し、中部縦貫自動車道は、沿線住民にとって欠くことのできない極めて重要な「真に必要な道路」であると強く訴えてきた。

また一日も早く、中部縦貫自動車道が整備されるよう「中部縦貫自動車道整備促進に関する意見書」を関係省庁に提出することにした。

## ●議会等改革特別委員会

ことに決した。

今後とも、委員会における協議事項については、委員各位がテーマを提案し、そのテーマに基づき議論を行い、議会の改革をはじめ、住民サービス・福祉の向上につながるような提言をしていき、議会として課せられた役割を最大限に発揮し、地方分権時代にふさわしい自主的かつ効率的、そして具体的な改革の方策の策定を目指す。

# 議 会 日 誌

### ◆10月

- 26日 福井県市議会議長会中央要望（東京都）
- 27日 三重県亀山市行政視察来訪
- 28日 議会運営委員会、会派代表者会議、議員全員協議会、県下市町議会議員合同研修会（福井市）

### ◆11月

- 4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・同定期総会・総決起大会（東京都）
- 5日 福岡県小郡市行政視察来訪
- 5日～6日 議会だより編集委員会視察（長野県東御市・千曲市）
- 6日 三重県桑名市行政視察来訪
- 13日 議会等改革特別委員会、若狭町行政視察来訪
- 19日～20日 中部縦貫自動車道要望活動（東京都ほか）
- 24日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会、決算特別委員会
- 27日 県後期高齢者医療広域連合議会（福井市）

### ◆12月

- 11月30日～16日 第366回定例市議会
- 22日～24日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会（勝山市）

### ◆1月

- 12日 神奈川県綾瀬市行政視察来訪

## 編集後記

新年あけましておめでとうございませう。  
厳しい社会情勢の中で明けた新年、今年はどうのような一年になるのか。  
寅年は、暗闇から暁に変わり物事が動く年といわれています。本市において今年も、年間を通じて「越前大野城築城四三〇年祭」が開催されます。市民全員が大野市が暁に変わっていくことを願っています。

今年も、なお一層、皆さまに親しまれる議会だよりになりますよう鋭意努力してまいります。皆さまのご感想、ご意見をお待ちしています。

## 市議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴することができます。  
傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。  
(0779-66-1111 内線253)

## 議会だより編集委員会

委員

- 石塚 淳子
- 宮澤 秀樹
- 松田 信子
- 浦井 智治

